

1. 調査報告概要表

作成日 平成 20年10月15日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3471502983
法人名	有限会社 ピュアハート
事業所名	グループホーム春里
所在地	広島県福山市新市町戸手657 - 1 (電 話) 0847 - 51 - 5665
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島県広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成20年9月29日

【情報提供票より】(20年 8月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 9 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 12 人, 非常勤 8 人, 常勤換算	13.8 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2 階建て, 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名		
要介護3	3 名	要介護4	5 名		
要介護5	4 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.5 歳	最低	63 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	池田医院、田上歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅などに囲まれた普通のグループホームといった感じの建物である。中では普通の人たちが生活している感じである。しかしこの地域では「地域の福祉を高める会」などの地域としての福祉活動があり、その活動にホームとして積極的に参加してよりよいホームとなるように取り組んでおられる姿がよくみられた。職員も働くことと同時に入居者とうまく付き合うことに喜びを感じる態度が入居者にとって普通に家庭生活をしている取り組みとなっている。これからもこの姿勢でホーム運営をされることを期待します。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	評価の内容を職員へ周知すると共にその内容を介護に取り入れるための話し合いがなされている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) ホーム長と職員はホームがよりよいものにするための目標と日々の努力をしていく態度が表現されており、その取り組みがなされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 地域の中にとけこむための活動方法が運営推進会議で話し合われており、公民館報にグループホームの状況を報告したり、介護に関する講演会を実施したりしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族会があり毎月会合がもたれている。家族も運営推進会議に参加するなど常に意見などがホームに伝えられるように取り組んでおられ、介護にも反映されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の福祉を高める会と連携して公民館広報にグループホームの現状をPRするなど地域の中によくとけこんだ活動がある。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中にあるグループホームとしての理念を作り、共用空間の壁に大きく張り出している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に基いた介護をするように管理者とスタッフが一緒になって話し合い取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	福祉を高める会との付き合いがあり、公民館公報にグループホームの活動を出している。認知症の講演会を公民館で実施している。		地域の中での認知症介護のための活動がよく見られる。これからもこれらの活動がおこなわれることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価の内容が職員に周知されており、評価意見を介護に活かす取り組みがされている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	医師、民生委員、福祉を高める会の会長などの参加により、地域との付き合いができるように運営されている。		

グループホーム春里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域のワーキンググループや地域の連絡協議会に参加し市との関係を深めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族会があり毎月会合が開かれている。また、家族は運営推進会議に参加し、意見を出している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が訪問されたときや運営推進会議、介護計画作成時に家族の意見を聞き介護、運営に反映している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	採用時にホームの仕事の方針や仕事をするための要望を聞き勤務計画を立てており、社員一人ひとりと面談し意見の交換を行ない働きやすい職場となるように職員と一緒に取り組んでおられる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	6ヶ月に一度職員一人ひとりの面談している。仕事に関する外部研修会を積極的に職員へ周知して参加できる体制を作っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域内の介護事業所の協議会へ積極的に参加し意見交換や技量の向上に勤めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	5日程度の体験入所を実施しておられる。家族にも施設がよく理解できるように長く居られる工夫がある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	職員は時間外に入居者とよく話し合っておられる。外出支援ではボランティアとして取り組んでおられる。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	七夕のとき元気なときに何がしたいかを短冊に書いて、その実現に取り組んでおられる。(プールに行きたい、家に帰りたいなど)このとき職員はボランティアとして参加しておられる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	全職員参加のケア会議で介護計画を作っておられる。このとき家族の意見、入居者の気持ちを聞きそれを反映しておられる。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヵ月に一度及び著変事には見直しがされている。家族の意見が反映されている。		

グループホーム春里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者を希望により自宅に連れ帰る取り組みや、近く開始される小規模多機能事業との連携を検討している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は週に一度の往診があり、緊急時には携帯への連絡体制をとっておられる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医との連携により看取りを数回行なっておられる。重度化について家族とよく相談し実施できる体制である。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりがその人らしい暮らしを心がけている。個人情報事務室にきちんとしまわれている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の気持ちや要望を良く聴きだしており、それに合わせた対応をしておられる。		勤務終了後に職員は入居者とよくおしゃべりをしてから退社している。

グループホーム春里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の量、味付けはよい。入居者はよく食べておられる。また食事後の後片付けもよくしておられた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は入る楽しみが伝えられており、みな入っておられる。(拒否がない。)		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの要望を聞き、その実現に取り組まれている。(プールへ行く、実家へ帰るなど)(七夕の短冊作りに元気のときどんなことがしたいかの願いを書いている。)		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出希望された入居者にはそれがかなえられるようにしておられる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は22時まで空いており、居室にも鍵はかけていない。拘束について職員はよく理解しており、拘束のない生活が営まれている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年に2回実施しており、実施内容をチェックし避難時間の確認までしている。AEDを設置しており、緊急時に利用された。		

グループホーム春里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量、水分摂取量は一人ひとりの状況を記録管理しており、足りない時は取るように努めている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は広くソファー、畳の場所があり、くつろげるようになっている。壁には入居者の作品や活動の写真が飾られている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室に入居者が必要なものが持込まれている。</p>		